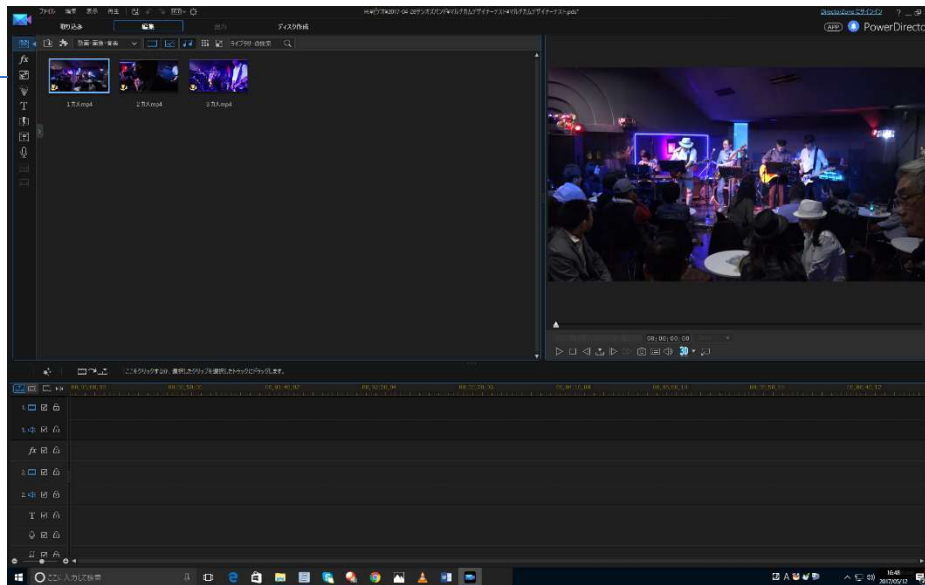


マルチカムデザイナー・マニュアル

2017. 05. 13

和歌山映像クラブ 南川

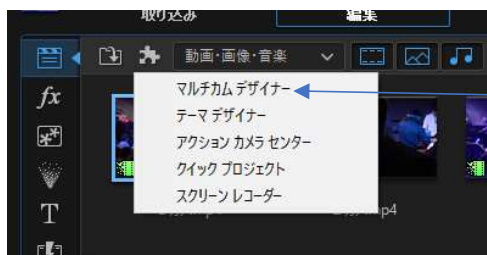
- ①マルチカムデザイナーは何台かのカメラで撮ったビデオ映像を、音声を基準としてワンクリックで自動的に同期をとることができる、パワーディレクターの優れた機能です。
- ②テスト映像「Sun oz Band Live」で使用したカメラ構成
 - 1カメラ……AX100+三脚……舞台全景を撮る広い絵
 - 2カメラ……AX55+三脚……演奏者を個別に撮るアップの絵
 - 3カメラ……OSMO+手持ち……客席を含め多方向を移動で撮る広い絵
- ③パワーディレクター14の画面



④これをクリックする。



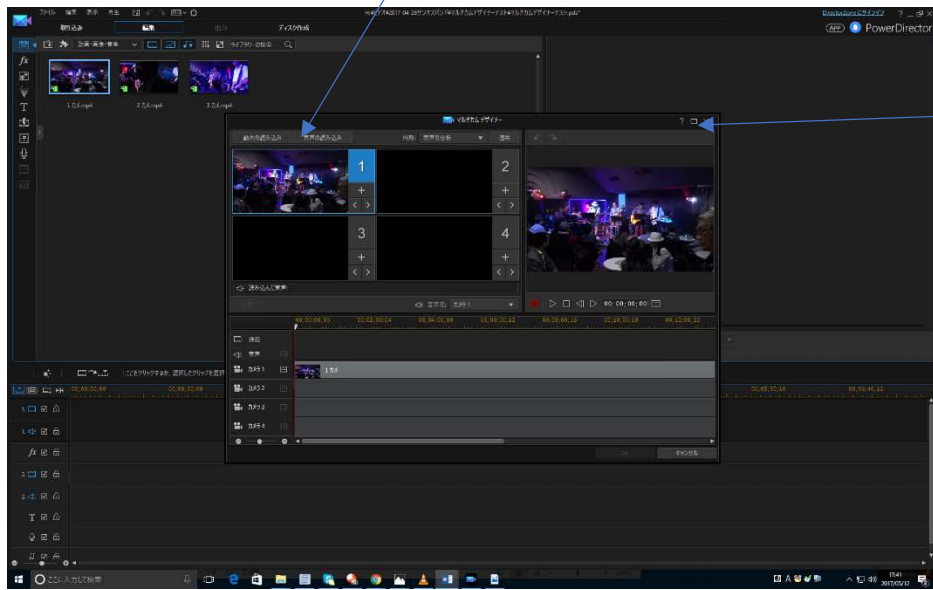
⑤マルチカムデザイナーをクリックする。



⑥マルチカムデザイナーの画面が立ち上がる。

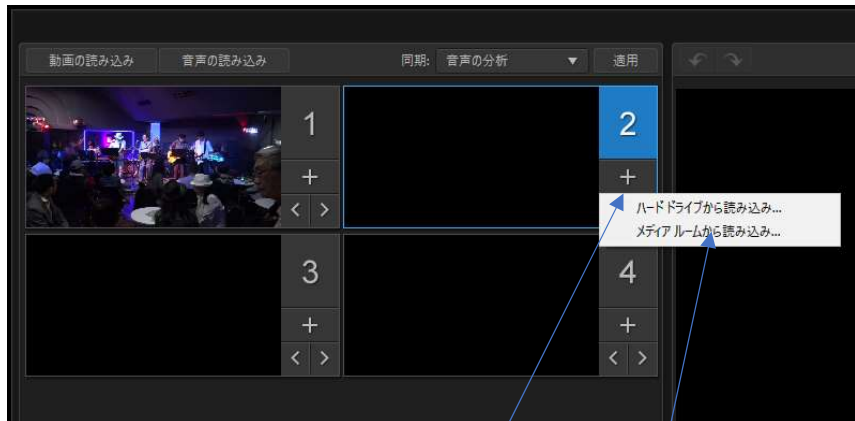
③の時点で指定されていた映像が1カメに入る。

指定していなければここは黒くなっているので、⑧～⑫の手順で1カメを指定する。

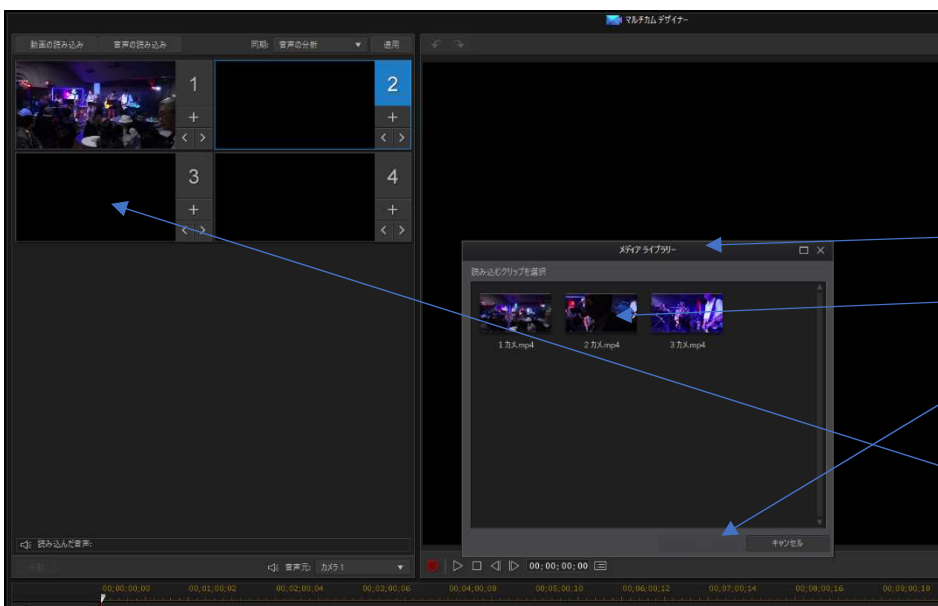


⑦全画面に広げ見やすくする。

⑧ここをクリックして2カメを指定する。



⑨+をクリックして「メディアルームからの読み込み」を指定する。



⑩メディアライブラリが表示される。

⑪2カメに入る映像を指定する。

⑫OKをクリックする。

⑬3カメも同様に指定する。

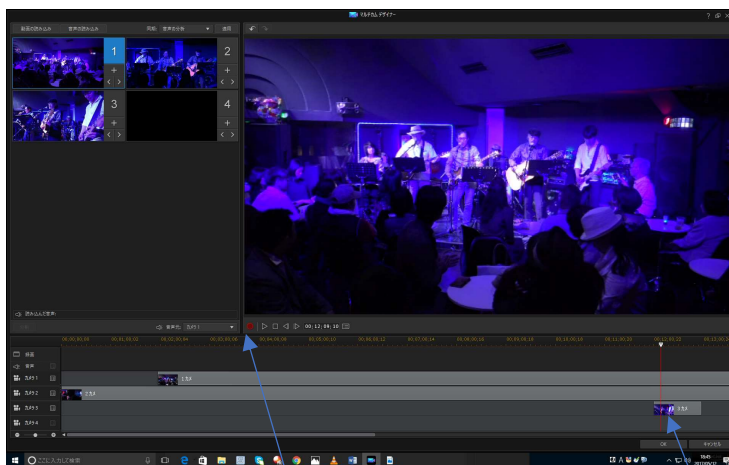


⑮編集時、どの音声を使用するか「音声元」で指定する。
ここではカメラ1を指定し、1カメの音を使用する。
（「読み込んだ音声」の使い方は不明）

⑯同期: 音声の分析を指定して、適用をクリックする。⇒音声の分析が始まる。

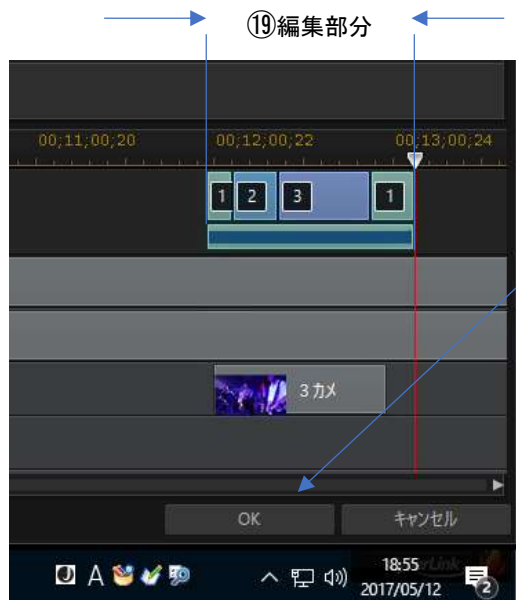


⑭1カメ、2カメ、3カメのデータはそろったが、まだ同期はとれていない。



⑰音声分析が終わり、1カメ、2カメ、3カメの同期がとれた。

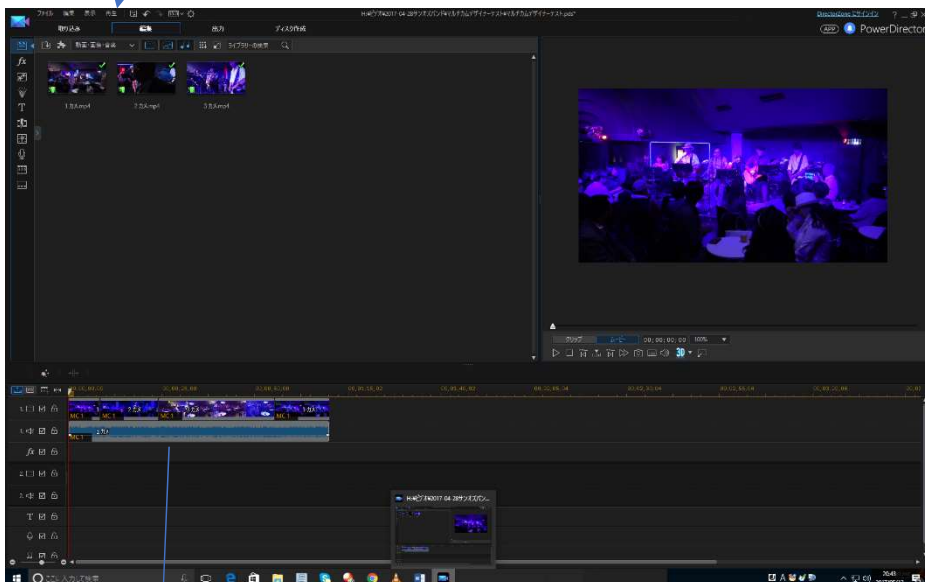
⑱赤い録画のボタンを押して編集を開始する。



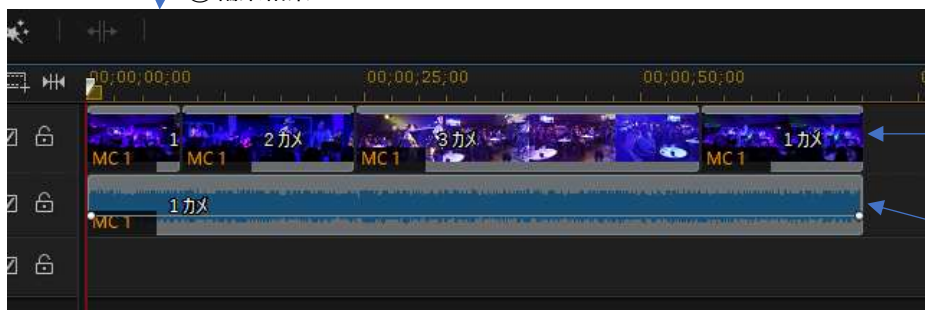
⑱編集部分

⑳編集が完了すれば OK ボタンを押す。
編集の部分修正は後工程で出来る。

㉑パワーディレクターの画面に変わり、編集結果がタイムラインに張り付けられている。



㉒編集結果



㉓音声と同期した映像のカット
ここで編集の部分修正可能

㉔1カメの音声

㉕IC レコーダー撮った.WAV はそのままでは4カメとして認識しません。

.MP4に変換すれば OK です。(⑮の「読み込んだ音声」で使えるのかも知れません。)

以上